

## 今年4月亀田病院の循環器内科医として着任 8月1日から心臓リハビリテーションを開始



### 亀田病院循環器内科医師

# 白川亮介

今年4月、亀田病院（蒲池匡文理事長）循環器内科に着任したのが白川亮介医師だ。小樽生まれの白川医師は小樽潮陵高校を卒業後、北海道大学医学部へ入学。「母方はがん家系で、がんが治せるようになりたいと

今年4月、亀田病院（蒲池匡文理事長）循環器内科に着任したのが白川亮介医師だ。小樽生まれの白川医師は小樽潮陵高校を卒業後、北海道大学医学部へ入学。「母方はがん家系で、がんが治せるようになりたいと

患者があつという間に良くなること。そして、それを可能にするダイナミックな治療に強く惹かれました。病気そのものを治すだけではなく、予防やQOL（生活の質）の改善もできるのが循環器内科の最大の特徴です」。

旭川赤十字病院での研修後は平成24年北見赤十字病院（3年間）、27年からは北海道大学病院医師として循環器内科に勤務した。同

年には大学院へ進学（北海道大学大学院医学研究科医学専攻博士課程循環病態内科学分野）、心血管病のミトコンドリア機能に関する研究を行っている。

北海道大学循環器内科から派遣で3年前から月に2回、亀田病院に勤務していた。「当院は平成21年に現在地の昭和1丁目に移転新築し、従来の慢性期から新たに急性期治療後の回復期医療を中心とした病院として開設しました。広々として

たりハビリ室を設けたりハビリテーションも大きな特徴です」。白川医師は北海道大学循環器科では心臓リハビリテーション班に所属し心臓リハビリテーション指導士になるなど、心臓リハビリテーションに高い関心を持ってきた。

「8月1日から当院で心臓リハビリテーションを開始しました。対象となる疾患は急性心筋梗塞や狭心症、開心術後などで、急性期治療が終わってからリハビリを行うことで、生命予後の改善が期待できます」。同病院のリハビリテーション科には理学療法士や作業療

法士、言語聴覚士、マッサージ師が多数在籍していて、セラピストのリハビリスタッフの他、医師や看護師、医療ソーシャルワーカーなど多職種によるカンファレンスを行い、治療方針の統一されたリハビリ医療を365日提供している。

「心臓リハビリテーションも運動療法は理学療法士、患者教育や生活指導は看護師、栄養指導は栄養士、服薬指導は薬剤師など多職種で連携することが重要です。エビデンス（根拠）に基づいたりハビリを継続することにより体力も回復していきます。地域医療に少しでも貢献できるように努めていきます」。

しらかわ りょうすけ  
平成22年北海道大学医学部医学科卒業  
旭川赤十字病院医師（研修医）、北見赤十字病院、北海道大学病院を経て、平成31年4月亀田病院循環器内科に着任。平成31年3月北海道大学大学院医学研究科医学専攻博士課程修了。  
日本心臓リハビリテーション学会認定心臓リハビリテーション指導士、日本内科学会認定内科医。



# Medical Hakodate 《2019 September》

Medical Hakodate 《2019 September》

函館・道南の医療・介護・福祉の雑誌

71

## 特集

### 病院に新しい風を吹き込む8人の医師 専門性を発揮した質の高い医療を提供

